

東洋羽毛工業(株)CS 推進室課長	佃 光明 様
蔭山(株)商品開発・品質管理担当部長	小島 祥栄 様
日本ふとん製造協同組合専務理事	只野 悟 様
ダイワボウ・ノイ(株)ライフスタイル部長	巽 哲一 様
(株)エビス営業部	米山 幸平 様
(一財) ボーケン品質評価機構開発部課長	坂井 史治 様
(一社) 日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良 様
	中村 富夫

JBA 第 4 期業種別委員会：第八回ふとん部会 議事次第

1. 開催日時 平成 30 年 2 月 19 日 (月) 13:30~15:30
2. 開催場所 JBA：(一社) 日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所内
東京都中央区日本橋小舟町 7-2 小舟町 243 ビル 7F ☎ 03-6661-0213
3. 議題(1) 掛けふとんの総合評価マトリックス表の検討
 - (2) 評価ラベル仕様の試案検討
 - (3) その他

議事録：議題 (1)

坂井委員：(資料説明) 生地評価の吸・放湿性は吸湿性のみ、詰めもの評価の吸湿性は水分量でなく、公定水分率で評価した。

小島委員：梶井研究室の製品保温性他、試験機含めた状況報告は、機器、体積、気候条件等の様々な条件設定をクリアするには 2 年は要するものと思われる。

奥谷専務：簡易的なカンチレバー試験データと信州大学実施の KES 曲げ/せん断試験データで相違があるのか。

坂井委員：データに大きな相違なく、コスト面、容易性からカンチレバー方式を推奨する。

議題 (2)

奥谷専務：(資料説明) JBA 品質基準ラベルデザイン (素案) であり、付記する内容によっても変わってくると思う。ウレタン・敷部会は製品測定評価面で課題山積し検証中である。

まくらは品質表示ラベルの標準案策定は出来た。ふとん用素材のデータ分析評価もできたので表現策をどうするかである。

小島委員：ふとん、まくら、ウレタン・敷のメリハリのあるラベルデザインを要望し、裏面への各種評価記載が望ましい。

米山委員：下げ札ではハードケースに入れると見えなくなる。リーフレット、帯等に表記できるようにしたい。

只野委員：下げ札だけでなく、格の上がる縫込みラベルも用意したほうがよい。

奥谷専務：羽毛産地証明ラベルもシリアルNo.付き縫込みラベルを考えており、何種類も縫込みは出来ないと思う。

佃部会長：ふとん用素材評価ラベルは購入目安用途であり、より目につきやすいのがよい。
坂井委員：普及させることが大事で、SEK ラベルのように高額で使われないケースもある。

奥谷専務：売場用ラベル案内（比較目安）表を用意する。JBA ラベル管理として、申請受付書と生地／詰めものデータを検証し、認可管理番号付与し印刷発行する。
ラベル代は消費者向け告知用広告物の経費に充当する。
JBA, 日羽協、JFMA 会員であることを基本として、日本国内市場にある掛け・合掛けふとんに付ける。 6月21日 JBA 総会承認後、7～8月には業界説明会開催して10月からの春夏物展示会に間に合わせたい。2019年秋冬物からは完全添付を図りたい。

議題（3）

佃部会長：次回打合せは、実際使用のふとん用素材性能表記ラベル（案）、比較目安表（案）などを検討したいので、3月29日（木）PM1:30～開催する。

以上